

公表

事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	多機能型児童療育支援事業所 なないろ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年3月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 4名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和7年2月18日		～ 令和7年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた支援を提供している。	・お子さま一人ひとりの個性や気持ち、関心があるものに合わせて、楽しく活動できるように活動プログラムに変化をつけながら支援に取り組んでいる。	・お子さんの心境の変化にも敏感に対応できるよう様子観察を行い、楽しみながら療育活動ができるように職員個々で意見を出し合い、活動に繋げていく。
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について情報共有を行っている。	・連絡アプリを活用して、その日の様子を写真付きで保護者様との情報共有、共通理解に努めている。また送迎時にも活動の様子、体調の変化等お伝えするように努めている。	・アプリ内の機能の充実化を図る。
3	活動プログラムの立案をチームで行っている。	・職員全員で意見を出し合い、集団で行う活動の中でも、個々の特性やレベルに合ったプログラムを作成し実行できている。	・職員個々の得意なことを活かしながら活動内容の充実を図りながら支援に繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会が少ない。	・地域の児童が遊びに来ることもできる環境設定にしているが、保育所や認定こども園、幼稚園との積極的な交流は行っていない。	・誰でも立ち寄れる環境づくりや、地域の他のお子さんへのイベント参加のお知らせ等を行っていききたい。 ・イベント開催時など、保育所等との交流の機会を考えていきたい。
2			
3			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日：令和7年3月12日

事業所名：児童発達支援 多機能型児童療育支援事業所なないろ

対象人数（保護者）4人

回答者数 3人 回収 75%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	1			・お庭遊びができなくなったと聞きましたがその分公園に連れていってくれたり工夫してくれている。 ・もう少し広くてもいいかなと思います。	・近隣住民の方からの希望もあり、庭遊びの頻度が減っています。時間を決めて庭遊びを行ったり、近くの公園へ行ったりと工夫をしています。	
	2 職員の配置数は適切だと思いますか。	2			1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1	1			1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	2				1		
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	2	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	2				1		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	2	1					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	2				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3					・季節の制作はいつも楽しみにしています。	・創作活動等、職員が新たな試みを常に模索し検討しています。

	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	2	1			
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	1		1	・まだ参加したことはないが機会があれば参加したいと思う。 ・外部研修のお知らせが来た場合は保護者の方にもお知らせするようにしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	2	1			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2			1	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	2	1			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3				・ハロウィンのイベントをお兄ちゃんたちと参加するのを楽しみにしています。 ・今後も家族参加できるイベントを開催していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1			・急な変更も対応してくれて助かります。 ・今後も相談や申し入れに対して迅速に対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3				・アプリは写真付きでわかりやすいです。 ・アプリの活用で、個人情報に配慮しながら適切な情報伝達を行うようにしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	3				
22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	2	1				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	3					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1				

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 多機能型児童療育支援事業所
なないろ

公表日

令和7年3月12日

	チェック項目	はい		工夫している点	課題や改善すべき点
		はい	いいえ		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 適切なスペースが確保されている。 職員の目が行き届く利用定員である。 指定基準上のスペースは確保できている。 室内でも安全に、活動できるよう配慮しながら支援している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 目が行き届く配置数である。 職員の配置は指定人員基準以上の配置をしている。限られた人数のなかで工夫しながら支援をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 適切に配置されているが重度の児童が多い時にはプラス人員の確保も必要だと感じる。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 賃貸住宅で可能な限りの配慮はしている。 学習や遊びの空間が分かれているのは、こどもたちにとっても切り替えしやすい点だと思う。 部屋別に分けられていたり、視覚ですぐに分かるように配慮されている。 構造として可能な限り配慮し、お子様が生活できる環境を整えている。 必要な工事等も行ない年々環境調整を進めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 特性に応じたバリアフリー化はできていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> 毎日次亜塩素酸水での消毒を行ない清潔に保つことを心がけている。 使う部屋や送迎の車を消毒等を行い清潔にしている。 毎日、事業所内と使用車両の清掃と消毒を行っている。 感染予防も踏まえ清潔な空間を作れるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習や遊びのスペース、おもちゃの消毒などは毎日行っているが細かいところの整理整頓や掃除をもっとやっていきたい。また送迎車についても掃除の頻度を増やしていきたい。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じてどの部屋の使用しても良い環境を作っている。 体調不良時など必要に応じて個別の部屋や場所を提供している。 使用用途の別れている部屋でも必要時に別の目的で使用することも許されている。 	
6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 何でも全員に共有できるツールがある。 毎日ラインなども活用し職員全員が把握できるように取り組んでいる。 		
7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> 毎年行ない情報公開している。 毎年評価表を記入してもらい集計してHPIに載せている。意見等を参考にして業務改善につなげている。 年1回の評価表だけでなく日々ご意見を参考にしながら可能な限り業務改善につなげる努力をします。 		

業務改善	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・意見毎に検討している。 ・意見毎に検討し業務改善に努めている。 ・毎日のグループラインや月1回の職員会議で体験を全職員で検討し業務改善に努めている。 		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を設けていないが関係機関から出た意見はその都度検討し業務改善に努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価を設けていない。 ・今後取り入れていきたい。 ・現時点で第三者委員会などの外部評価は実施していない。今後実施するか検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・参加可能な研修は全て参加している。 ・県または市が主催する研修に積極的に参加している。（虐待防止研修・強度行動障害研修・相談支援従事者研修・サービス基礎研修などを主体に参加している） 	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・その日の利用者に応じ検討している。特に実費の必要な活動は事前に保護者にお知らせをし参加の有無を決めてもらうようにしている。 ・特に長期休みには力を入れたプログラム作成に努めている。事前にお知らせをし参加の有無を保護者の方と一緒に検討していただけるようにしている。 	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・各児童の意見も多く取り入れている。 ・必要に応じて、発達検査の結果などを任意提出していただき、お子様のアセスメント分析、指導・療育方針の決定に役立てるようにしている。 	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・全員の意見が反映される体制をとっている。 ・直接支援職員の意見も参考にしながら保護者と児童の希望に沿った計画となるよう努めている。 	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・職員回答で意識付けの機会も設けている。 ・全職員が共通理解の下個別支援計画のもと支援を行っている。 	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・できている。 ・国の基準に沿いながらも独自の様式を用いている。 ・国の標準化されたツールを下に独自の様式を使用し必要に応じて、発達検査の結果などを任意提出していただき、お子様のアセスメント分析、指導・療育方針の決定に役立っている。 	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より行えている。 ・今年度より内容を再検討し5領域に分けた計画書を作成している。 ・面談やアセスメントシートを元に、必要な支援項目を選択し具体的な支援内容を設定している。 	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・各自が役割を持ちできている。 ・全職員で話し合い決めている。 ・月に1度、職員会議を、職員全体で行っており、また集団で行う活動の中でも、個々の特性やレベルに合ったプログラムを作成し課題を再設定している。 	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・季節行事も取り入れたりと工夫している。 ・子どものやりたいこと等取り入れながら固定化しないように心がけている。 ・活動プログラムが固定化しないように、支援の内容を検討、更新しながら行っている。 	・特に長期休みには意識しているが児童発達支援は利用時間が短いため参加してもらえないことも多い。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・お子様の状況に合わせて個別または集団活動を検討し、計画を作成し、個別活動の中でも集団活動へ移行できるよう、集団を意識した取り組みを行っている。 	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも情報収集ができるツールが有る。 ・支援開始前に話合って決めている。 ・毎日、必ず職員間でお子様に対する支援内容の確認と役割分担について情報共有等を行っている。 ・保護者等からの連絡事項は、全職員に必ず共有し、支援内容に反映している。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間が変則のため全員が集まることはないが毎日必要な情報共有はできている。 ・シフト制で勤務の時間がバラバラなので支援終了後に毎回打ち合わせや振り返りを行うのは難しいが、その日の記録は全員分読んで把握するようにしている。 ・共有し、次に活かせるようように心がけている。 ・毎日、必ず職員間でお子様に対する支援内容の確認と役割分担について情報共有等を行っている。 ・保護者等からの連絡事項は、全職員に必ず共有し、支援内容に反映している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必ず記録をとっている。 ・子どもの課題に合わせた記録を行うように心がけている。 ・毎日、お子様の活動を記録して。記録を活用しより良い支援につなげるよう努めている。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・モニタリング時期以外にも必要時には見直しをしている。 ・半年に1回以上モニタリングを行い、個別支援計画の見直しをしている。また保護者の方から出たご意見を参考に日々必要時には随時見直しをしている。 	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・必ず参加している。 ・基本的に児童発達支援管理責任者か施設長が参加している。 	

関係機関 や保護者 との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時には連携しながら支援している。 ・担当者会議等を通じて可能な限り連携する体制を取っている。 	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・年長児童は放課後等デイサービスへの移行も進んでいる。 ・担当者会議等を通じて可能な限り理解を深め情報共有を行なっている。 ・地域移行や放課後等デイサービスへの移行実績もありその都度必要な対応を行えるよう整備している。 	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議だけでなく必要時には引き継ぎ会にも参加しスムーズな移行に繋がるよう努めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて情報共有を行えるよう調整中。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・必要時に応じて研修等に参加している。 ・連絡会などにも参加し他所のアドバイスやご意見も参考にさせていただいている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援とは連携が取れているが児童発達支援センターとの共有は機会がない。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童が遊びに来ることもできる環境設定にしている。 ・イベントを通じて交流する機会を設けている。 ・地域のイベントへの参加や事業所へのイベントへの参加呼びかけを年に数回行なっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後取り入れていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・常に意識し取り組んでいる。 ・日々細かに記録を行い、保護者に公開している。 ・連絡ツールや送迎時のやり取りで共有している。必要に応じて、面談を実施したり時間外対応も行なう。 	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	3	<ul style="list-style-type: none"> ・現在実施していないが外部研修のお知らせが来た場合は保護者の方にも知らせている。 ・日頃から支援に関する相談に対して、保護者に助言を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修の案内は不定期で行なっているが事業所内部の研修の機会はない。 ・機会があれば取り入れたい。
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・必要時に行なっている。 ・契約時に説明させていただいている。また、不明な点は随時職員が説明するようにしている。 		

保護者への説明等

36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・家族だけでなく児童の意見も取り入れることを意識している。 ・お子さんと保護者の意向を計画書に記載し、ニーズを踏まえた支援計画を作成している。設定した目標に対して支援方針や支援内容の優先順位を踏まえ計画を作成している。 	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・得ている。 ・支援計画内容を説明する機会を設け、同意を得ている。 	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・利用日にかかわらず対応する体制をとっている。 ・半年に1回程度のモニタリングを定期的に行うと共に、相談したいことがあれば適宜面談日を設定している。 	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	<ul style="list-style-type: none"> ・家族参加のイベントを設け機会を提供している。 ・ハロウィンイベント等で利用者の兄弟とも交流。 ・事業所で開催している年数回のイベントに保護者や兄弟児童の参加ができる準備をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・父母の会や保護者会は開けていない。 ・父母の会の開催はないが今後希望があれば対応していきたい。
40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・いつでも対応できるよう体制を整備している。 ・迅速かつ適切に対応するように心がけている。 ・相談や申し入れがあった場合、電話や面談にて迅速かつ適切に対応するよう努めている。苦情受付・解決担当者は重要事項説明書に記載し契約時に説明している。 	
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に発信している。 ・ホームページやお便りで発信している。 ・情報をおたよりや連絡ツール、ホームページ上にて発信している。 	
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・留意している。 ・個人情報が記載された書類などは鍵付きキャビネットにて保管している。また掲示物や配布物の中に個人情報が含まれないよう配慮している。 	
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> ・配慮している。 ・言語以外のコミュニケーションツールも使用するなど配慮している。 ・合理的配慮を行い、できる限り障害のある子どもに達成感や自己肯定感を得られるような支援を心がけている。 ・言葉だけでなくジェスチャーを使用したり、見てわかりやすい視覚補助的教材を使うなど伝達方法を工夫し、伝わる方法を利用者や保護者に合わせるようにしている。 	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の児童が遊びに来たり困った時に相談できるよう体制を取っている。 ・イベント時は児童館を利用している。 ・イベントのお知らせを配布したり、地域のイベントに参加をしたりと地域に向けた事業運営を図っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民も参加するような行事は開催できていない。 ・案内はしているが参加の実績はない。

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・その都度訓練方法を検討しながら工夫し行なっている。 ・定期的に訓練を行っている。 ・事故、災害、感染症などのマニュアルについて職員会議にて対応方法などの確認を行っている。事業所の見やすい場所に掲示しいつでも見ていただけるよう対策している。 	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・防災訓練や火災訓練を行っている。 ・BCPに沿った研修・訓練を実施している。 職員による避難手順や経路確認、連絡訓練の他、利用者と共に訓練を行い備えている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・利用毎にしている。 ・服薬については毎回保護者に依頼書を書いてもらっている。また薬の増減についても職員全員で共有している。 ・必要に応じて聴き取りも行いながら利用毎に確認している。 	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・食事提供はしていないがおやつ等は配慮している。 ・事前に確認している。 ・食事提供はしていないが事前にアレルギーの確認は行ない職員に周知し対応している。 	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・安全第一で支援を行っている。 ・安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練などを統括管理している。 	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・行なっている。 ・事前に周知するように心がけている。 ・安全計画に基づき、感染症や怪我などについて注意喚起や事業所の取り組みについて周知に努めている。 	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員で共有している。 ・ヒヤリハットの事案があった際には、職員会で報告し、ともに・なないろの両施設間の職員で共有している。 ・各職員が対応を考えて話し合い、最善の対応を検討する話し合いを行っている。 ・関連事例があった場合、職員会議にて周知、検討再発防止に向け取り組んでいる。 	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月委員会を開催している。 ・本定期的に研修に参加している。 ・外部研修に職員が参加したり職員会議にて内部研修を行う。特に幼児期は身体接触や誘導が多くなるため、日頃から支援の振り返りも行なっている。 	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月委員会を開催している。 ・本人や他者の安全を守るために行う。また身体拘束が一時的なものになるように意識している。 ・身体拘束適正化委員会を設置し、身体拘束の必要性などを検討する場を設けている。 	